令和6年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会「第1回理事会」議事要旨

- 会 場 県民総合運動公園陸上競技場 1 階 102 会議室
- 方 法 来場とオンラインのハイブリッド開催
- 日 時 令和6年6月3日(月)午後6時~午後7時30分
- 出席者 山口 清、福永賀友、川口和子、三角陽司、丸山隆行、山下泰司、蓑田敏郎、松本健司、

松田直浩(来場9人)

山中清志、岩永孝博、桐原正喜、橋垣真美、有働秀樹(オンライン5人)

太田黒尚子、野島弘宣(事務局2人)

- 1 開会
- 2 あいさつ 山口会長
- 3 議長選出 山口会長
- 4 報告
- (1) 令和6年度本協議会加入クラブについて(P1)
 - ・本年度加入クラブが60クラブとなった旨説明。新規加入クラブは西原村総合型クラブカラスポ。
- 5 議事
- (1) 令和5年度事業報告について(P2~15)
- (2) 令和5年度決算報告について(P16~17)
 - ・一括して福永理事長が説明。
 - ・5月24日(金)に会計監査を実施した旨報告。

一質疑応答—

- ・橋垣理事:事務局補助の謝金は上がっているのか?繰越金が50万円程度出ている。物価が上がっているので見直す必要はないのか。
- ・太田黒:3月の理事会で予算を提示した中で事務局業務の見直しの必要性はあった。
- (3)令和6年度事業計画について(P18)
- (4) 令和6年度予算について (P19~20)
- (5) 令和6年度各種事業の実施について(P21)
 - ・一括して福永理事長が説明。
- ・6月22日(土)で新役員決定後、新理事で理事長の互選を行う必要があるため、7月に理事会を入れる 旨事務局から補足説明。併せて旅費を理事会1回分追加する。

—質疑応答—

- ・三角理事:県民スポーツの日について、富合地区はイベントは校区スポーツ協会が行い、日常活動は総合型が行っており、運営基盤の手伝いをしている。スポーツ協会の主催事業についても同様に含めてもいいか?また、期間も10月だけにせず、もう少し広げたらどうか?
- ・有働理事:期間と主催者団体を広げすぎると予算面もあるので現時点では枠組みを広げるのは難しい。
- (6) 令和6・7年度役員の選出について (P22~24)
 - ・福永理事長から役員改選について説明。各ブロック及び学識から選出された役員の紹介。

一質疑応答—

- ・福永理事長:会長候補・副会長候補は自クラブの会長職をされている方、理事長は自クラブのクラブマネジャーの方から選出した方がいいと思う。
- ・山中理事:新理事に会長職の打診はしてあるのか。
- ・太田黒:事務局から確認はとっていない。今日の協議ののち、案を取って本人確認を行う。

- ・福永理事長:南ブロックは、次期理事候補者に会長職に就く可能性までは説明していない。
- ・橋垣理事:北ブロックは理事の人数が変わることと理事の中から会長が出ること、事務局としての役割が あることは伝えている。事務局はクラブの協力を得ていいよとも伝えている。
- ・丸山理事:くまもと城南スポーツクラブの山田会長は、本協議会の会長または副会長を受けてもいいと了解を得ている。植木の上野氏にも事務局のことは伝えているが、最終的には本人の意志確認が必要。
- ・川口理事:山田会長は単身赴任をされていて、ほとんどクラブの活動していない。会場が近いからという 理由で会長を選ぶと毎度中央ブロックの方となるため、それも違うと思う。
- ・山口会長:2年間本協議会の会長となったが、自クラブ(長嶺)は小さいクラブであるため、菊陽等の事例を聞いてもよくわからない。また、全国の会議等に参加する機会もあったが、今後はNPO 法人を取っているクラブなどがいいと、個人的には思っている。

―協議の結果―

・南ブロック選出の宮崎氏を会長、中央ブロック選出の山田氏を副会長候補として、内諾を得られるよう取り進め、6月22日(土)の評議員会にて決定する。

6 その他

- (1) 令和6年度総合型クラブ承認手続きについて(P25)
 - ・今年度の本県における総合型クラブ承認手続きについて、昨年度との変更点を説明。
 - ・山口会長から、承認手続きと全国への登録・認証制度が非常に分かりづらいとの意見あり。
- (2) 令和6年度クラブ主催事業補助事業の申請について
 - ・13事業申請があった旨報告。(交流部門12、チャレンジ部門)
 - ・要項上では、交流部門10事業、チャレンジ部門6事業を募集していた。
 - ・募集内であるため、13事業採択してよろしいか事務局から説明。

―協議の結果―

・チャレンジ部門に申請の八代総合型クラブ「リ・ボンズ」の事業は事業実施予定日が6月16日と期間対象外のため、先方に確認する。なお、チャレンジ部門は「地域課題の解決」のための事業となるが、本事業の地域課題とは何なのか不明であるため、申請時に聞き取る必要性について山口会長から指摘。

7 閉会

